

事業所における自己評価結果（公表） 放デイ 9人

		チェック項目			放デイ 9人		工夫している点		課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ					
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	パーテーション等の仕切りを使い、空間を分け、時間帯や児童に合った支援をしている。		適切な空間を提供することを意識し改善に努めている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	児童の人数やメンバーによって、職員の配置数を決めて適切に運用している。			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	2	障害特性に応じ、自立を促す補助を適切に行っています。また、バリアフリーの観点では事業所内に段差を作らない等の工夫をしています。		今、教室を利用している子供にとって必要な配慮を心がけ、より良い環境づくりに努める。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	2	児童発達管理責任者を筆頭に、職員全員で意見を出し合い、一人ひとりの支援に参加している。		PDCAサイクルは、職員共通の連絡帳・個別連絡事項ノートにて毎日周知し、職員全員が参加している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	1	年に1度のアンケートを実施し、ホームページ上にて、公開している。保護者と連絡を密に取り合い、業務改善につなげている。保護者の意見を受け止め、業務改善の見直しや意向の把握につとめ、保護者と連携し、より良い支援を計画している。		保護者の意図を把握するために定期的な振り返りを行う。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	1	年に1度、アンケートを実施し、ホームページ上にて公開している。保護者と連絡を密に取り合い、業務改善につなげている。保護者の意見を受け止め、業務改善の見直しや意向の把握につとめ、保護者と連携し、より良い支援を計画している。		定期的に、こどもプラスの月間プログラムを配布しています。今後は情報発信手段としてHPを今まで以上に活用していきます。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	1	他事業所や相談員との会議の中で、取り入れることのできる改善点を取り入れている。			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	全職員研修修了を目指し、機会を確保している。強度行動障害支援者養成研修やこどもプラス本部の運動保育士・感染症対策等の研修に参加している。			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	日々の児童の様子を記録し、児童発達管理責任者が分析し、計画書を作成している。		定期的な面談を実施し、児童・保護者等のニーズを聞き取り、分析した上で作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	ヒヤリングでアセスメントを行っている。			
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	運動プログラムのみならず、レクリエーションも充実できるよう、職員間協力して立案している。			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	毎月作成された柳沢運動プログラムを採用し楽しく効果的に身体を動かしている。		運動プログラムのみならず、レクリエーションも充実できるよう、職員間協力して工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	2	毎月作成された柳沢運動プログラムを採用し楽しく効果的に身体を動かしている。		児童毎に分析をし、保護者の希望を取り入れた包括的支援を目指す。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	1	児童発達管理責任者が、児童の状況を考え、適宜分析し、定期的に変更や追加を加え作成している。		関わる全ての職員が個別支援計画書に基づいた体系化した支援を目指す。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	1	出勤時に必ず職員全員に個別で声をかけ、当日の業務内容を理解したのち、業務にあたっている。入念な打ち合わせと職員間連絡帳にて情報を共有している。			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	1	気づいた点は、当日中に児童発達管理責任者へ報告し、記録を取っている。必要があれば、保護者にも連絡している。			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	毎日、児童の様子を記録し、周知、職員全体で観察できるようにしている。		全職員が利用者の特性を理解した支援を目指す。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	児童発達管理責任者が毎月モニタリングを行い、定期的に計画の見直しを実施している。			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	0	行っている。		ガイドラインに沿って支援を行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3	0	担当者が出席できるよう、日程調整を行っている。			

⑦	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	3	0	保護者からはもちろん、各施設から電話での連絡や書面により、迅速かつ適切な情報共有を行っている。	
---	--	---	---	---	---	--

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1	対象児童はいないが、緊急時の対応も含め、主治医を把握している。	
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	保護者からはもちろん、各施設から電話での連絡や書面により、迅速かつ適切な情報共有を行っている。	
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2	2	例はないが準備はできている。	現在、卒業し、障害福祉サービス事業所へ移行する児童は、今のところいない。ニーズがあれば、情報を提供する。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	0	保護者からはもちろん、各施設から電話での連絡や書面により、迅速かつ適切な情報共有を行っている。	研修を受けている児童発達管理責任者が他施設と連携を取り助言を行っている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	健常者のいる公園へ、徒歩で行く事であれば、車で遠くに遠足し交流することもある。	定期的に公園等で、健常者のこども達と交流を行っている。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	2020年度は開催がなかった。	コロナ禍で開催なし。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	1	日頃の様子は、保護者との連絡帳にてやり取りしている。定期的な面談も実施し、共通理解を深めている。	毎回の連絡帳での共有と定期的に、面談や気になった場合は、すぐに連絡を取り合い、共通理解の上、支援に繋げている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	定期面談時はもちろん、家族に対しても密に連絡を取り合い、支援を行っている。	定期面談時は、家族に対しても支援方法や助言を行っている。希望があれば、6か月に1度の定期面談だけでなく、面談頻度も考慮していく方が望ましいと考える。
	保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	1	契約時、不都合な点がないか入念に確認し、利用して頂いている。
㉙		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	1	定期面談の他、不安なことがあれば、随時連絡を取り合い、助言をしている。	
㉚		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	3	同学校や施設から利用している児童もおり、必要に応じ保護者間の連携が取れるよう都度情報共有を行い連携の支援をしている。	父母会は開催していない。必要があれば、今後検討する。
非常時等の対応	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	1	相談事や気になることに関しては、密に連絡を取り合い迅速に対応している。	苦情や相談等があった場合は、当日中の解決を目指し、対応している。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	2	こどもプラス独自の広報誌も発行し、保護者に対し、発信もしている。利用時の連絡体制は、教室に来るたびに保護者と連絡帳でやりとりをしている。活動の写真等も毎回掲載し、発信している。	
	㉝	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	個人情報を取り扱う書庫には、鍵がかかっている。不要な個人情報が記載されている書類は、シュレッダー等で裁断処理している。データ等持ち出しを禁じている。	
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	年齢や障害の重さにより、言葉の理解が難しい児童は、絵などで対応することもある。保護者とは言葉（口頭）だけでなく、文章でもやりとりもしている。	
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	5	近隣の大きな公園にて、地域の方と交流することもある。	現在、対外的な大きなイベントは開いていないが、公園等で地域との交流を図っている。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	全てのマニュアルをいつでも見れるよう保管している。	職員や保護者がより認知しやすくするためマニュアルの発信方法を今後意識していく。
㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	消防へ報告している。避難訓練を実施する際は、避難後に公園等で遊ぶため、児童にとっても楽しめるイベントになっている。	年2回以上の防災訓練の実施。近くの避難所に避難をしている。精度の高い訓練を目指し、イベントとして児童も参加している。	
㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	2	疑いの段階で児童相談所へ相談して早期の解決を図っている。	虐待の疑いがある場合は児童相談所へ相談して、慎重な対応を心掛けている。	
㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	1	保護者から了承を得た上で、組織決定し個別支援計画に加える。		
㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	新規児童や状況に変化のあった児童の情報は、出勤時に各自が確認し主治医も把握している。全職員、共通の連絡帳や打ち合わせ時に情報共有し、児童の状況を把握している。		
㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	事業所内だけでなく、内容によっては他事業所への情報共有も行い、都度改善内容を事業所内で共有している。	過去のヒヤリハットも適宜読み返し・共有を行い、事故に対する意識を上げていきます。	